

UO スキル / 調教使役

PDFJ::Text=HASH(0xb7afa950) 扇動

- ・ 難易度制
- ・ スキル遅延 10 秒
- ・ プライマリステータス：INT
- ・ セカンダリステータス：DEX
- ・ Bardic Guildmaster

クリーチャー 2 体を興奮させて同士討ちをさせるスキルです。モンスターが 1 体しかいない場合は、あまり役に立たないスキルですが、戦闘力の高い 2 体がいる場合、その戦力を大幅に疲弊させることが可能で、使い方によっては非常に有用なスキルとなっています。使用するたびに楽器のチャージが減ります。

スキル上昇は難易度制なので、適切な難易度(スキル値より若干高め)の相手にスキルを使用する必要があります。スキルを直接使用して、使用する対象をターゲットします。この能力を使うことは「敵対行為」とみなされます。

効果範囲は「 $8 + \text{スキル値} \div 15$ マス内」で、その成功確率については正確な計算方法を示しています。スキル値 = バード難易度の相手 2 体が対象で、楽器などの補正が何も無い場合 60% の確率になります。

この確率で成功した場合、どちらかが死ぬまで同士討ちをします。このスキルの効果は、対象が視線の通る効果範囲内において、スキル使用者が生きていて姿を消していなければ続きます。この条件が 10 秒以上満たされなかったら、解けます。

plague beast から metal box をルートしたい場合、このスキルでどんどん plague beast にモンスターをけしかけて必要があります。たいていの場合、plague beast が戦いに勝つと思うのですが、plague beast は自分が倒したクリーチャーの死体を吸収するという能力があります。で、吸収すると HP が回復し能力が上がるようです。これを繰り返すたびに、倒した時に拾えるお金が増える(最終的に 2000 近くなる)のですが、さらにプラスして metal box を落とす確率が上がっていきます。数匹の雑魚をけしかけただけで拾えることもありますが、基本的に数を多く、できるだけ強い敵を吸収させる方が確率は上がるようです。たくさん吸収させると一匹で 3 つも 4 つも落とすことすらあります。

バードが使用できるマジックアイテムである fire horn の威力にもこのスキルは大きく関係します。どのように用いられるかは詳細な説明を別記しているので、を御覧下さい。

UO スキル / 調教使役
